

第 97 号



人と人

発行

東村山市国際友好協会

編集：広報委員会

東村山市本町 1 - 2 - 3

東村山市役所内

☎ 393-5111 内線2558

http://www.h-ifa.com/

会長挨拶

ますますの交流深化へ



会長 岩瀬 由明

で学生交換を相互に中止して以来の事です。

この広報紙がお手元に届く頃は、今年の10名の派遣生を募集している時期です。皆様のご家族やお知り合いに興味を持たれた方は、イ市の一般家庭にホームステイして得る貴重な体験を是非試してみたい。

昨年の総会で7代目の会長として承認頂いて、初めての年を迎える事になりました。昨年3月には、千年に一度といわれる東日本大震災と、その後の原発事故という未曾有の事故に見舞われました。

当市からは派遣生を訪問させたものの、誠に残念なことに、イ市からの学生親善訪問が中止となつてしまいました。これは、3年前にインフルエンザの影響

当市からは派遣生を訪問させたものの、誠に残念なことに、イ市からの学生親善訪問が中止となつてしまいました。これは、3年前にインフルエンザの影響

35周年記念を控えて



副会長 中村 智行

当協会は、1978年1月26日インディペンデンス市において姉妹都市の調印が行われて以来34年が経緯し、いよいよ来年に35周年記念事業を迎える事になりました。

これもひとえに会員および皆様のおかげと厚く感謝申し上げます。平成24年度は早速、35周年記念事業特別委員会を立ち上げ両市の市民同志の交流・式典等の準備体制に入ることにしました。

35年近く事業活動を継続する

派遣生同窓会発足準備へ

今までにイ市にホームステイした派遣生は引率者を含め、300人を超えています。このたび、当協会にとつて長年の懸案であつた派遣生の同窓会組織を立ち上げる事が決まりました。

新しく発足する準備のための委員会を、各委員会から選出された代表と元派遣生も数名参加し、名称を「派遣生OB・OG会設立準備プロジェクト」とします。

このプロジェクトは今年4月に発足し、2013年の第1回同窓会開催時までとなります。その後は派遣生が主体となり、運営していくことが期待されます。

このプロジェクトは今年4月に発足し、2013年の第1回同窓会開催時までとなります。その後は派遣生が主体となり、運営していくことが期待されます。

姉妹都市より真心届く

当協会へ、イ市姉妹都市委員会から震災の義援金、2874ドル60

「新たな絆」

大震災が起きた11日の深夜、私の携帯にグラウンデル小のブラウン先生から「今朝TVをつけたら日本が大変なことになつていて。回田はどうなの？子供達が心配している」とメールの第一報が。東村山は大丈夫と返信。その後の混乱などについてメールのやり取りが続きました。

あちらの子供達からお見舞いのカードがたくさん送られてきた。「大丈夫？」「祈っています。」「無事？」中にはひらがなで書いてあるメッセージもあつた。それからグ小を通して、カンザスシ

姉妹校だより

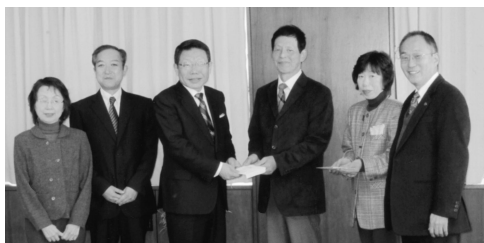


お見舞いカード

代表 中島 幸子

年会費納入のお願い

新年度の年会費は7月に会員拡充委員が広報紙を皆様にお届けの際、受取りに伺いますのでよろしく願います。



岩瀬会長、曾我部回田小学校長（右から2人目）から渡部市長へ

セント（21万8233円）、またカンザスシティの小学校からは回田小学校へ託された募金325ドル40セント（2万3806円）が届きました。これらの募金は渡部市長に手渡し「日本赤十字社」に寄託いたしました。

英会話講座前期受講生募集

日時：4月11日（水）～9月12日（水）
水曜日全20回

Aクラス 17：30～18：25
Bクラス 18：30～19：25
Cクラス 19：30～20：25
Dクラス 20：30～21：25

費用：受講料 13,000円
テキスト 2,400円（現テキスト使用）
協会年会費 2,000円（学生1,000円）

会場：東村山市市民センター

注：受講資格は、市内在住又は在勤・在学（高校生以上）の方に限ります。詳しくは、3月1日付の「市報」または「ホームページ」をご覧ください。

海外旅行は、今がチャンスと大勢の方が出掛けられる昨今です。当協会の講座は家庭的で初めての方も大歓迎です。お気軽にご参加下さい。

（英会話委員会）

イ市訪問団のホストファミリー募集

姉妹都市インディペンデンス市から来市する学生親善訪問団をお世話していただけるホストファミリー及びサポーター（各種行事のお手伝いや、短時間のあいだ家庭で訪問団員をお世話出来る方など）を募集します。是非ご応募ください。

訪問団：引率者1名（成人男性） 学生10名
日程：7月14日（土）～27日（金）
対象：①市内在住で、期間中、訪問団員に1部屋提供出来る
②歓迎行事などに家族のどなたかが参加出来る
＊金銭の補助はありません
申込書配布：2月1日（水）から生活文化課で配布
申込期間：2月1日～4月6日（消印有効）までに、直接または郵送で生活文化課へ
詳細は下記の事前説明会でご案内します。

事前説明会
日時：3月10日（土）午後7時
場所：市民センター第1会議室
申込み：3月8日（木）までに電話で生活文化課へ

ホストファミリーの声

＊楽しかった。是非またやってみたい。
＊サポート制度が出来、安心だった。
＊英語の得手不得手より積極さだと実感した。
お気軽に事前説明会にご参加ください。

（学生受入委員会）

イ市親善訪問派遣団員募集

姉妹都市インディペンデンス市を訪問する団員及び引率者を募集します。

日程：7月27日（金）～8月11日（土）
内容：ホームステイをして親善と交流の絆を広げる。
対象：引率者 60才までの方……英語に通じ、団体引率に適した心身共に健康な方。

：団員 中学3年生～22才（申込み時）
定員：引率者1名・団員10名
費用：約23万円（変動あり）
＊引率者の方には、当協会から補助金があります。

申込書配布：2月1日（水）から本庁1階・生活文化課で配布

申込期間：2月1日～3月14日（消印有効）までに、必要事項を記入の上、直接または郵送で生活文化課へ

＊引率者の申込みは2月末日まで
選考日：3月20日（火）午後3時から 市民センター
選考方法：面接及び簡単な英会話

事前説明会
日時：3月2日（金）午後7時30分～
会場：市民センター 第1会議室
＊申込み不要、直接会場へ

（派遣委員会）

いざという時に備えて

救急救命講習会

1月22日(日)東村山市消防署本庁舎において、会員を対象とした「上級救命講習会」が行われました。当協会では平成21年に初めて行い、今回は2回目の開催となります。昨年の大震災により参加者も意識が高くなっており、実践を想定した有意義な講習会となりました。以下は体験者の感想です。

「初めての救急救命講習」

ずいっと気になっていた救急救命講習に初めて参加しました。家族の中で私以外は色々な機会に講習を受けていましたが、私だけが救急救命に関する知識を持っていませんでした。昨年の3・11地震以降、私も最低の知識が欲しいと思いつけていたもので、願ってもないチャンスでした。

講師は防災救急協会から派遣された超ベテランで、テキストに沿って説明をしているのですが、必死に覚えると言うことでなく、聞いているうちに理解し身につき、ダミー人形を使った救命処置の実地テストが終わっていました。まず119番に通報する。この第一歩が今まで出来



ことを願いますが、もし家族に必要な時がきたらためらわずに使います。第三者に対してはちよつと不安…。

次に応急手当方法の練習を行いました。三角巾一枚で身体の様々な部位を固定できるのです。これも常に携帯しておきたい一品だと思いました。

今回はすべて友好協会の会員という気楽な小グループで、その場ですぐに疑問を聞くことができ、講師も気さくな方で良い雰囲気でした。一回の講習で救命処置を行うことが出来るとは思いませんが、少なくとも立ち去ることはないと思います。良い機会をありがとうございました。(中川 香)

市民交流

再会は最高のプレゼント

平成23年12月22日から31日まで、派遣生だった森山真平君第28回・森山雄介君(第29回)兄弟と仲条高幸君(第29回)がイ市を再訪しました。滞在記を寄稿していただきました。

姉妹都市再訪問

森山 真平

私は弟と共に姉妹都市のインディペンデンス市(イ市)へ再訪問した。2011年のクリスマスを

Christmas Party

英会話委員会

昨年12月21日(水)市民センターで、後期英会話の受講生がクラスを越えて「クリスマス合同交流会」を行いました。クリスマス休暇でイギリスへ帰省されていたゴードン先生の代わりにカメロン(カナダ)先生が参加されました。

ゲームや歌など、普段交流のない他のクラスの方々と委員たちと楽しい時間を過ごしました。当日は参加者も58名と大盛況でした。

本田レイラニさん
(右・生活文化課)
カメロン先生
(中央・カナダ)
バネッサ先生
(左・オーストラリア)



スケート場でイエーイ!!

はさんで10日間ほどの旅行であった。

私は2010年の夏に東村山市の姉妹都市親善訪問派遣団の一員としてイ市へホームステイをした。翌年、派遣生として私が泊まった家へ弟がホームステイをした。派遣時に知り合ったホストファミリーは本当の家族のようで、お別れの時に私にも弟にも「またおいで」といつてくれた。そして昨年の年末に再訪問が実現したのである。

イ市の友達やホストブラザーが私たちのために遊ぶ計画をたくさん企画してくれた。ボウリングへ行ったり、夜も寝ずに明け方まで遊んだり、映画を観たり、スケートへ行ったりと充実した日々を送れたのは彼らのおかげである。中でも、アメリカで迎えるクリスマスは初めてで、



ボウリング場で全員集合

向こうの家族とプレゼント交換をしたりイルミネーションを見たりした。ホストファミリーは私たちが来てくれたことが最高のプレゼントだと言ってくれた。

派遣時に知り合ったイ市の学生やファミリーと再会できたことが何より嬉しく、今回の再訪問でその時よりもいっそう親しい仲になれたと思う。国際交流というものは派遣期間内だけの一時的なものではなく、その後もうやうや関わっていくことに意味があるのだと思った。このような機会を与えてくれた姉妹都市親善訪問派遣事業に感謝をしたい。

お知らせ

・総会

平成24年度総会は5月26日(土)午後2時より市民センター2階において開催されます。

総会終了後は、会員交流委員会の準備による懇親会を予定しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

・役員・委員研修

今年度の役員・委員研修会は3月24日(土)、市内青葉町にある納豆工場等の見学です。詳細については別紙をご確認ください。申込締切は3月8日(木)です。(会員交流委員会)

あの人は今

第25回派遣生 櫻井 彩美

私は2005年の夏に派遣団員として参加しました。また、ホストファミリーとして5人のインディペンデンスの学生を受け入れた経験があります。

当時、私が滞在したのはMoxleyファミリーです。ご両親と4姉妹、そして大きな犬のいる家族でした。長女のサラが同じ年齢だったため(当時大学1年生)、サラや彼女の友人たちと買い物に行ったり、アイスを食べに行ったり、そして大学生活の話題を中心になくさんの話をしたことが印象に残っています。

ア)として1年間滞在しました。AuPairはホームステイをしながら、その家の子どものお世話をするることによってベビシッターとして給料をもらいつつ、地域の大学などに通う若者向けのプログラムです。

この派遣を通じて、もっと世界中の若者と交流をしたいと思ひ、大学時代には日独学生青年リーダー交流事業や日韓青年親善交流事業などにも参加しました。それぞれの派遣を通じて、よりいっそう世界へ興味を広げ、卒業後は1年間の社会人経験をへて、アメリカにAuPair(オペ

ア)として1年間滞在しました。AuPairはホームステイをしながら、その家の子どものお世話をするることによってベビシッターとして給料をもらいつつ、地域の大学などに通う若者向けのプログラムです。

世界中の若者と交流をしたいと思ひ、大学時代には日独学生青年リーダー交流事業や日韓青年親善交流事業などにも参加しました。それぞれの派遣を通じて、よりいっそう世界へ興味を広げ、卒業後は1年間の社会人経験をへて、アメリカにAuPair(オペ

世界中の若者と交流をしたいと思ひ、大学時代には日独学生青年リーダー交流事業や日韓青年親善交流事業などにも参加しました。それぞれの派遣を通じて、よりいっそう世界へ興味を広げ、卒業後は1年間の社会人経験をへて、アメリカにAuPair(オペ

編集後記

・イ市で提携記念パーティー
1月28日(土)イ市で恒例の姉妹都市提携記念のパーティーが行われました。そのようすは、当協会のホームページに掲載されておりますので、どうぞご覧ください。

当協会は来年の姉妹都市提携35周年記念行事に向けて準備活動に入りました。特にこの間に派遣生の同窓会を作るプロジェクトを1年間かけて協議することになりました。

・お詫び
前号(12月1日発行)の記事中 賛助会員「角田幸司」様のお名前は正しくは「角田孝司」でした。お詫びして訂正します。

来年の3月には本広報紙は100号を迎えます。当委員会も検討しています。記念号に対するアイデアをぜひお寄せください。